

令和5年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	道路維持補修事業						
総合計画 重点施策	都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	管理課

事業目的・概要
<p>【事業目的】 市道及び道路附属施設等の維持、補修により、道路利用者の安全と地域住民にとって快適で安心なまちづくりの推進を図る。</p> <p>【事業概要】 市道の舗装、側溝、安全施設、区画線等の補修など生活道路の改善を行っていく。 定期的に月2回、3班に分けて道路パトロールを実施するとともに、庁内イントラを利用し、毎月1日に道路異状箇所の報告を促すなど、市職員の生活道路に対する意識を高め、適切な維持管理を行う。</p>

成果指標	単位	R4 (実績)	R5 (実績)	R6 (目標)	R7 (目標)
補修処理率	%	96	96	96	96
パトロール実施回数(月2回)	回	24	24	24	24

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<p>目標期限: 令和6年3月末 達成基準: 実施箇所の完了</p>	<p>通年による維持補修 補修実施箇所(令和6年3月末) 確認件数: 744件 処理件数: 713件</p> <p>道路パトロールの実施 24回 取手市内を5地区に分け、3班に分かれて実施。</p> <p>計画的維持補修 藤代駅自由通路エレベーター修繕 (令和6年3月完成) 藤代駅自由通路及び取手駅西口広場エスカレーター補修工事 (令和6年3月完成)</p> <p>新川・上萱場地区舗装修繕工事 (令和6年3月完成) 米ノ井地区排水対策工事 (令和6年2月完成)</p>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

今後の方向性	
継続	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も補修要望については迅速に対応していく。 ・日常のパトロールに加え、月2回の定期道路パトロール道路を実施して監視体制の強化を図る。 ・市職員への周知徹底を図り、道路等の補修箇所の早期発見に務める。

事業費(単位:千円)	R4(実績)	R5(実績)	R6(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金	52,201	39,920	209,130	昨年度に比べ、公共施設等適正管理推進事業債や緊急自然災害防止対策債など活用し、また年度計画による橋梁及び横断歩道橋の補修工事など実施した結果、19,189千円の減額となった。
	県支出金				
	地方債	96,800	62,100	187,700	
	その他	30,599	24,654	20,904	
	一般財源	229,575	263,312	250,797	
事業費計(A)	409,175	389,986	668,531	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	7	5	5	
	業務時間	13,440	9,600	9,600	
	その他職員人件費	8,424	9,361	12,720	
人件費計(B)	50,988	40,004	43,574		
トータルコスト(A+B)	460,163	429,990	712,105		

令和5年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	道路等管理業務						
総合計画 重点施策	都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	管理課

事業目的・概要
<p>事業目的</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民の財産である道路・河川等を適正に管理することにより、信頼ある行政運営を図る。 <p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路施設の長寿命化を図るため、橋梁定期点検(31橋)を行う。 安全な道路空間の確保のため、道路施設等(照明・側溝・街路樹など)の維持管理を行う。 道路用地の草刈りなどを行い、適正な維持管理を行う。

成果指標	単位	R4 (実績)	R5 (実績)	R6 (目標)	R7 (目標)
橋梁及び横断歩道定期点検	橋	62	34	20	38

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<p>目標期限: 令和6年3月末 達成基準: 実施箇所の完了</p>	<ul style="list-style-type: none"> 橋梁長寿命化計画修正業務委託 (令和6年3月15日完了) 横断歩道橋定期点検業務委託 (令和6年3月14日完了) 防犯灯の新規設置数(45基) 街路樹剪定などの維持管理 5単市第2-1号主要道路等街路樹管理業務委託 ほか7本 (令和6年2月完了) 道路用地(草刈)の維持管理 5単市第1-1号 道路除草業務委託 ほか6本 (令和5年12月完了) 	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

今後の方向性	
継続	引き続き、適切で計画的な維持管理を行う。

事業費(単位:千円)	R4(実績)	R5(実績)	R6(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金	17,847	18,160	3,043	年度ごとの橋梁長寿命化計画の見直しにより、昨年度に比べ、27,576千円減額となった。
	県支出金				
	地方債	0	0	0	
	その他	6,285	2,480	3,254	
	一般財源	39,630	51,474	40,521	
事業費計(A)		63,762	72,114	37,267	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	7	7	8	取手市公共施設の里親制度実施要領を活用し、取手市道に設けられた植樹帯の維持管理を実施している。引き続き、里親制度により環境美化等に対する市民意識の高揚を図り、美しき住みよいまちづくりを推進する。
	業務時間	12,672	12,672	14,592	
	その他職員人件費	14,013	16,166	21,344	
人件費計(B)		54,145	56,615	68,243	
トータルコスト(A+B)		117,907	128,729	105,510	

令和5年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	地籍調査事業						
総合計画 重点施策	—	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	管理課

事業目的・概要
<p>【事業目的】 地籍調査を行うことにより、土地の正しい位置、境界、地番、地目、面積の明確化を図る。</p> <p>【事業概要】 国土調査法に基づき、地籍の明確化を図るために一筆毎の土地について、その所有者、地番及び地目の調査並びに境界及び地積に関する測量を行い、その結果に基づき地図及び簿冊を作成する事業である。これらの成果は、法務局に送付されると登記簿の記載が改められ、固定資産税の課税など、様々な分野で活用されることとなる。</p>

成果指標	単位	R4 (実績)	R5 (実績)	R6 (目標)	R7 (目標)
地籍調査新規地区の面積	ha	13	18	13	13
地籍調査新規地区の総筆数	筆	756	854	843	850
地籍調査事業の進捗率 ※1	%	16.0	16.3	16.5	16.7

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<p>目標期限: 令和6年3月末 達成基準: 予定業務の完了</p>	<p>新規地区である白山IV本郷 I 地区(白山五丁目、本郷一丁目の各一部)は、市の中心市街地に隣接する地域で、筆数・地権者数ともに多い地区であったが、地籍調査推進委員の方々や関係地権者の地籍調査事業に対する理解、協力により調査及び測量を予定通り実施した。また、2年目の白山III地区及び3年目の白山II地区についても予定通り実施した。</p> <p>○本市の調査実施済面積 978ha (令和5年度末現在) ※2 " 調査対象面積 6,002ha</p> <p>※1 地籍調査事業の進捗率=調査実施済面積/調査対象面積 ※2 本市の調査実施済面積には国土調査法第19条第5項の指定及び法務局が実施した登記所備付地図作成作業の面積を含む。(国土調査法第19条第5項の指定とは地籍調査以外の事業(土地区画整理事業等)により地籍調査の成果と同等以上の精度・正確さを有する場合、この成果を地籍調査の成果と同一の効果があるものとして指定すること。)</p>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

今後の方向性	
継続	地籍調査事業は息の長い事業であるが、事業の重要性や必要性は高く、着実に事業を進めて行かなければならない。

事業費(単位:千円)	R4(実績)	R5(実績)	R6(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金			令和5年度新規地区は令和4年度地区より面積が大きいため、事業費が増となった。新規地区は、地番区域(大字)、面積及び筆数等を総合的に判断して決めており、年度によって面積や筆数が変動する。	
	県支出金	12,075	16,323		14,205
	地方債				
	その他				
	一般財源	6,077	6,202		8,526
事業費計(A)	18,152	22,525	22,731	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	4	4	調査地区内の市政協力員及び当該市政協力員の推薦を受けた調査地区内に居住し、土地に関して識見を有するものを地籍調査推進委員として市長が委嘱し、調査業務への協力を得て、地籍調査の円滑な推進を図る。	
	業務時間	7,680	7,680		7,680
	その他職員人件費				
人件費計(B)	24,323	24,515	24,684		
トータルコスト(A+B)	42,475	47,040	47,415		

令和5年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	市営住宅管理運営事業						
総合計画 重点施策	—	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	管理課

事業目的・概要
<p>【事業目的】 住宅に困窮する低所得者に対し、低家賃の公営住宅を提供するとともに、市営住宅の維持管理や統廃合等の更新コストの縮減を図りつつ、入居者に対し良好な住居環境の維持を図る。</p> <p>【事業概要】 市営住宅の維持管理及び修繕を行う。 入居者募集を居室の整備が整い次第、随時募集を実施していく。 未収となっている家賃滞納者に対して納付指導を行う。 市営住宅、また市営住宅以外の公的賃貸住宅等の活用や情報提供を促進する。</p>

成果指標	単位	R4 (実績)	R5 (実績)	R6 (目標)	R7 (目標)
家賃収納率(現年度)	%	99.2	98.4	97.0	97.0
入居用修繕戸数	戸	0	0	2	2

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
目標期限: 令和6年3月末 達成基準: 予定業務の完了	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家賃収納率 毎月の督促状の発送、電話、戸別訪問により、未納者に対してきめ細やかな納付指導を行ったことにより、目標値を上回る結果となった。 ○ 募集戸数 入居募集用の部屋の修繕は行わず、建物検査により指摘のあった給水施設の工事を行うことにより、入居者に対し良好な住居環境の整備を行った。 	A (予定どおり 進んでいる)

今後の方向性	
継続	継続して適切で計画的な維持管理を行うとともに、未収債権についても継続的に調査を行い、債権管理条例に基づき適切な対応を行っていく。

事業費(単位:千円)	R4(実績)	R5(実績)	R6(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金			令和5年度には、すべての入居者が退去した南住宅の解体工事が行われたほか、令和4年度に実施された、建物検査による是正個所である、駒場住宅揚水ポンプ改修工事が行われたことにより増額となった。	
	県支出金				
	地方債	5,600	9,000		
	その他	20,670	21,429		19,942
	一般財源	0	4,297		4,545
事業費計(A)	26,270	34,726	24,487	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	2	1+1/3	3	
	業務時間	3,840	3,840	3,840	
	その他職員人件費		1,444		
人件費計(B)	12,161	13,701	12,342		
トータルコスト(A+B)	38,431	48,427	36,829		

令和5年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	道路改良・整備事業（ふれあい道路維持事業）					
総合計画 重点施策	都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課 道路建設課

事業目的・概要
<p>本路線は広域的な幹線道路であり、地域防災計画の中でも第二次緊急輸送道路として位置付けられているが、近年戸頭地区の約1.4kmにおいて路線全体でクラックやわだち等が発生し舗装が著しく破損してきており、部分補修では対応しきれないことから、年次計画に基づき根本的な整備を実施する。</p>

成果指標	単位	R4 (実績)	R5 (実績)	R6 (目標)	R7 (目標)
年度事業進捗度	%	-	100	100	100

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
目標期限: 令和6年3月末 達成基準: 測量・設計の完了	令和5年6月～令和6年3月 路線測量・道路詳細設計 実施	A (予定どおり 進んでいる)

今後の方向性	
継続	<p>令和5年度に測量及び詳細設計を行い、工事発注に必要な図面等の作成を実施した。年次計画により、令和6年度から工事を実施し、3年かけ令和8年度事業完了予定である。</p>

事業費(単位:千円)		R4(実績)	R5(実績)	R6(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金		4,611	110,000	令和5年度から事業化となったことによる事業費の増となっている。
	県支出金				
	地方債		17,100	85,500	
	その他				
	一般財源		982	4,500	
事業費計(A)		0	22,693	200,000	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数		2	2	
	業務時間		500	500	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		0	1,596	1,607	
トータルコスト(A+B)		0	24,289	201,607	

令和5年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	道路改良・整備事業（東四丁目通学路整備事業）					
総合計画 重点施策	都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課 道路建設課

事業目的・概要
<p>当路線は、取手小学校の通学路となっているが、変則交差点となっており、また幅員が狭く車両が交互通行出来ない為、歩道が無い市道を通って通学する生徒・児童は、車道の端を歩行しており、当該箇所を通る自動車等と急接近し、非常に危険な状況となっている。</p> <p>地元からも安全対策について強い要望がある区間である為、早期に整備を実施するものである。</p>

成果指標	単位	R4 (実績)	R5 (実績)	R6 (目標)	R7 (目標)
年度事業進捗度	%	100	100	-	-

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
目標期限: 令和6年3月末 達成基準: 安全対策施設整備工事の完了	令和5年8月～令和6年1月 道路改良工事実施 L=250m 【事業完了】	A (予定どおり 進んでいる)

今後の方向性	
事業完了	

事業費(単位:千円)	R4(実績)	R5(実績)	R6(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金	23,937		令和4年度委託を繰り越したこと、また令和5年度に工事を実施したことから事業費が増となっている。
	県支出金			
	地方債	18,400		
	その他			
	一般財源	1,186		
事業費計(A)	0	43,523	0	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	2	2	
	業務時間	500	500	
	その他職員人件費			
人件費計(B)	1,584	1,596	0	
トータルコスト(A+B)	1,584	45,119	0	

令和5年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	道路改良・整備事業（井野団地外周道路改良事業）					
総合計画 重点施策	都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課 道路建設課

事業目的・概要
<p>井野団地外周道路を団地内循環バスが走行しているが、既存の道路は大型バスの頻繁な通行に耐えうる構造になっていないことから、舗装が激しく破損している状況である。 近隣住宅への振動被害が出ており、多々苦情が出ていることから、根本的に改良する整備が必要である。</p>

成果指標	単位	R4 (実績)	R5 (実績)	R6 (目標)	R7 (目標)
年度事業進捗度	%	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
目標期限: 令和6年3月末 達成基準: 道路改良工事の完了	令和5年8月～令和6年5月 道路改良工事(3工区)実施 L=249m	A (予定どおり 進んでいる)

今後の方向性	
継続	平成30年度に事業を開始し、令和元年度に詳細設計を実施、工事発注に必要な図面等の作成を実施した。年次計画により、令和3年度から工事を実施し、7カ年かけ令和9年度事業完了予定である。

事業費(単位:千円)	R4(実績)	R5(実績)	R6(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金			令和5年度工事は、前年度工事区間より延長が短くなったことから、事業費が減となっている。	
	県支出金				
	地方債	91,000	85,600		153,300
	その他				
	一般財源	4,860	4,620		8,200
事業費計(A)	95,860	90,220	161,500	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	2	2	2	
	業務時間	500	500	500	
	その他職員人件費				
人件費計(B)	1,584	1,596	1,607		
トータルコスト(A+B)	97,444	91,816	163,107		

令和5年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	道路改良・整備事業（米ノ井弁才天道路改良事業）						
総合計画 重点施策	都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	道路建設課

事業目的・概要
<p>当該道路は、国道294号線からグリーンスポーツセンターと救急病院へのアクセス道路となっているが、一部区間の幅員が非常に狭いことから、交互通行ができず危険な状況となっている。</p> <p>また、救急病院へ患者を搬送する救急車も通行しており、地元市政協力員から早期の改良要望が出ている路線である。車両の安全で円滑な通行を確保する為、整備を実施するものである。</p>

成果指標	単位	R4 (実績)	R5 (実績)	R6 (目標)	R7 (目標)
年度事業進捗度	%	100	100	100	-

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
目標期限: 令和6年3月末 達成基準: 道路改良工事の完了	令和5年11月～令和6年10月 道路改良工事实施 L=216m	A (予定どおり 進んでいる)

今後の方向性	
継続	令和元年に事業を開始し、令和2年に詳細設計を実施、令和4年に用地補償を完了した。令和5年に電柱移設を依頼、工事を発注したが、電柱移設の遅れもあり、繰越工事として令和6年度事業完了予定である。

事業費(単位:千円)		R4(実績)	R5(実績)	R6(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金	-----	-----	-----	令和5年度に工事を実施していることから事業費が増となっている。
	県支出金	-----	-----	-----	
	地方債	2,500	50,700	91,400	
	その他	-----	-----	-----	
	一般財源	302	5,728	10,181	
事業費計(A)		2,802	56,428	101,581	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	2	2	2	
	業務時間	500	500	500	
	その他職員人件費	-----	-----	-----	
人件費計(B)		1,584	1,596	1,607	
トータルコスト(A+B)		4,386	58,024	103,188	

令和5年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	雨水排水対策事業（下高井水砂雨水排水整備事業の推進）					
総合計画 重点施策	都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課 排水対策課

事業目的・概要
<p>【事業目的】 下高井地区において、近年多発している局地的大雨により降雨量が増大したこと、冠水箇所周辺の宅地化により雨水排水量が増加したことによる浸水被害が慢性化している。暫定的な対策として、現況の未改修の下高井雨水幹線を流末として排水ルートの検討・整備をするものとする。</p> <p>【事業概要】 管路施設基本設計</p>

成果指標	単位	R4 (実績)	R5 (実績)	R6 (目標)	R7 (目標)
年度事業進捗度	%	-	100	100	100

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
目標期限: 令和6年3月末 達成基準: 基本設計業務委託の完了 (排水ルートの決定)	令和5年度については、令和5年8月3日に委託契約を締結し、基本設計を実施した。基本設計の完成は、令和6年3月15日であった。	A (予定どおり 進んでいる)

今後の方向性	
継続	令和5年度に基本設計を実施し、令和6年度に実施設計にて工事発注に必要な図面等の作成を行う。工事は、令和7年度から雨水排水工事を実施し、令和8年度に事後調査を実施し、事業完了予定である。

事業費(単位:千円)	R4(実績)	R5(実績)	R6(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			19,300
	その他			
	一般財源		13,750	6,440
事業費計(A)	0	13,750	25,740	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数		3	4
	業務時間		1,200	1,200
	その他職員人件費			
人件費計(B)	0	3,830	3,857	
トータルコスト(A+B)	0	17,580	29,597	

令和5年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	雨水排水対策事業（稲雨水幹線事業の推進）					
総合計画 重点施策	都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課 排水対策課

事業目的・概要
<p>【事業目的】 中央タウンは、大規模開発により整備済み箇所であるが、周辺の宅地化に伴い雨水流出量が増大し、特に西二丁目地内の市道1-2548号線に道路冠水が多発し、通行に支障を及ぼす状況であるため、雨水排水施設を整備するものである。</p> <p>【事業概要】 舗装工事 施工面積約5770㎡</p>

成果指標	単位	R4 (実績)	R5 (実績)	R6 (目標)	R7 (目標)
年度事業進捗度	%	100	100	/	/

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
目標期限: 令和6年3月末 達成基準: 工事の完了	令和5年度については、令和4年度に発注した道路排水整備工事(繰越)を施工し、令和5年5月9日に完成した。令和5年7月25日に工事請負契約を締結し、舗装工事を実施した。令和6年1月5日に完成し、本事業は完了した。	A (予定どおり 進んでいる)

今後の方向性	
事業完了	

事業費(単位:千円)		R4(実績)	R5(実績)	R6(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債	42,200	86,600		
	その他				
	一般財源	2,301	4,629		
事業費計(A)		44,501	91,229	0	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	3	3		
	業務時間	1,200	1,200		
	その他職員人件費				
人件費計(B)		3,800	3,830	0	
トータルコスト(A+B)		48,301	95,059	0	

令和5年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	雨水排水対策事業（排水路維持管理事業の推進）					
総合計画 重点施策	都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課 排水対策課

事業目的・概要
<p>【事業目的】 排水施設の維持管理、修繕を実施し、雨水排水対策の充実により浸水及び冠水被害の緩和を目指し、快適で安心なまちづくりの推進を図る。</p> <p>【事業概要】 雨水幹線や既設水路の除草・汚泥浚渫・雑木伐採、雨水調整池の汚泥浚渫、排水ポンプ施設の機械類の点検整備及び修繕を行う。</p>

成果指標	単位	R4 (実績)	R5 (実績)	R6 (目標)	R7 (目標)
ポンプ施設点検件数	件	36	36	36	36

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<p>目標期限: 令和6年3月末 達成基準: 実施箇所の完了</p>	<p>雨水幹線(39路線)やポンプ施設(36施設64台)・調整池22箇所が機能するように点検・清掃などを随時実施。また、専門業者にポンプ施設の保守点検業務を委託し、不具合箇所について随時修繕を行った。</p>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

今後の方向性	
継続	道路冠水や浸水被害から市民を守るため、適正な維持管理を行う。

事業費(単位:千円)	R4(実績)	R5(実績)	R6(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金			電気代などの高騰により委託料や修繕料が増大しているため。	
	県支出金				
	地方債	4,600			921
	その他	890	1,000		64,602
	一般財源	57,414	64,757		64,602
事業費計(A)	62,904	65,757	65,523	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	5	7	7	
	業務時間	2,976	2,573	2,976	
	その他職員人件費				
人件費計(B)	9,425	8,213	9,565		
トータルコスト(A+B)	72,329	73,970	75,088		

令和5年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	雨水排水対策事業（藤代地区雨水排水整備事業の推進）						
総合計画 重点施策	都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	排水対策課

事業目的・概要
<p>【事業目的】 藤代地区(小林住宅)道路冠水被害の緩和のため、雨水排水施設を整備し、住環境の向上に寄与する。</p> <p>【委託概要】 実施設計</p>

成果指標	単位	R4 (実績)	R5 (実績)	R6 (目標)	R7 (目標)
年度事業進捗度	%	/	100	100	100

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<p>目標期限: 令和6年3月末 達成基準: 実施設計業務委託の完了</p>	<p>令和5年度については、実施設計を令和5年7月7日に業務委託契約を締結し、令和6年3月15日に完成した。</p>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

今後の方向性	
継続	令和5年度に実施設計を行い、工事発注に必要な図面等の作成を実施した。工事は、令和6年度から令和14年度の9箇年で雨水排水整備を実施し、事業完了予定である。

事業費(単位:千円)		R4(実績)	R5(実績)	R6(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債		3,000	10,800	
	その他				
	一般財源		1,048	5,204	
事業費計(A)			4,048	16,004	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数		3	3	
	業務時間		1,200	1,200	
	その他職員人件費				
人件費計(B)			3,830	3,857	
トータルコスト(A+B)			7,878	19,861	

令和5年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	市民と協働による公園維持管理事業（都市公園施設長寿命化対策事業）						
総合計画 重点施策	市民活動支援と協働の推進	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	水とみどりの課

事業目的・概要
<p>【事業目的】 市が管理する老朽化が進む公園施設に対して安全対策の強化、ライフサイクルコスト縮減並びに補修・更新費用の平準化を図る観点から、適切な施設点検、維持補修等の予防保全型管理のもとで、既存ストックの長寿命化対策および計画的な補修・更新等を行うことを目的として平成28年度に策定した「取手市都市公園施設長寿命化計画」に基づき、都市公園の施設を補修及び更新していく。</p> <p>【概要】 老朽化した施設・遊具等、公園の再整備を行っていくにあたり、地元自治会などと協議を行い、地元ニーズを反映した公園の計画・再整備を行う。また、維持管理協定等について合意形成を図り、利用者が望む公園を提供する。</p>

成果指標	単位	R4 (実績)	R5 (実績)	R6 (目標)	R7 (目標)
都市公園長寿命化対策事業を実施する公園数及び施設数	公園	20	13	18	10
	施設	53	27	41	68

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<p>【目標期限: 令和6年3月末】</p> <p>・公園施設長寿命化(更新)工事 令和5年4月～6月 現地調査・設計・協議 (地元自治会等) 令和5年6月～7月 起工 令和5年8月～9月 工事契約 令和5年8月～令和6年3月 公園施設更新工事</p>	<p>【完了: 令和6年3月】</p> <p>・公園施設長寿命化(更新)工事 大塚げやき公園他12公園 (ブランコ8箇所・滑り台4箇所・鉄棒1箇所・雲梯2箇所・スイング遊具6箇所・ボール遊具1箇所・インクルーシブ遊具2箇所・複合遊具2箇所・時計1箇所)</p>	<p>A (予定どおり進んでいる)</p>

今後の方向性	
継続	公園施設長寿命化計画に基づき、最新の点検結果を反映して、公園施設の補修及び更新を計画的かつ効果的に実施する。 今後も継続していくことで、市民とともに協働して公園を作り上げ、幅広い年代の方々に親しみを感じて公園を提供する。

事業費(単位:千円)	R4(実績)	R5(実績)	R6(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金	30,738	27,000	28,807	更新する施設の単価増等の影響により、更新施設整備数が減少したことにより減額となった。
	県支出金	0	0	0	
	地方債	27,600	24,300	25,900	
	その他	3,138	3,051	2,907	
	一般財源	179	0	0	
事業費計(A)	61,655	54,351	57,614	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	3	3	3	老朽化した施設・遊具等、公園の再整備を行っていくにあたり、地元自治会などとの協議の場を設け、地元ニーズを反映した公園の計画・整備を行っていく。
	業務時間	3,000	3,000	3,000	
	その他職員人件費	0	0	0	
人件費計(B)	9,501	9,576	9,642		
トータルコスト(A+B)	71,156	63,927	67,256		

令和5年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	公園維持管理事業（遊具及び樹木の点検）					
総合計画 重点施策	都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課 水とみどりの課

事業目的・概要
<p>【事業目的】 遊具の破損や枯木の倒木による事故を防止するため。</p> <p>【概要】 遊具及び樹木（公園施設）の点検を実施する。</p>

成果指標	単位	R4 (実績)	R5 (実績)	R6 (目標)	R7 (目標)
遊具の点検箇所数 (3回/箇所)	箇所	157	154	154	154
施設及び樹木の点検実施箇所数 (2回/箇所)	箇所	221	221	219	219

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<p>【目標期限】 令和6年3月末</p> <p>【達成基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門技術者による定期点検(遊具) 1回/年 ・管理者による安全点検(遊具、施設及び樹木) 2回/年 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門技術者による定期点検(遊具) 令和5年6月～令和5年10月 1回完了 ・管理者による安全点検(遊具、施設及び樹木) 令和5年6月・令和6年1月 2回完了 	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

今後の方向性	
継続	公園の安全安心な利用を実現するため、今後も継続して定期的な施設点検を実施していく。

事業費(単位:千円)	R4(実績)	R5(実績)	R6(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金			公園遊具定期点検業務委託の契約金額が、令和4年度より令和5年度の方が小さいため減額となった。
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	2,805	2,277	
事業費計(A)	2,805	2,277	4,829	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	7	7	9
	業務時間	560	560	560
	その他職員人件費	360	360	300
人件費計(B)	2,134	2,148	2,100	
トータルコスト(A+B)	4,939	4,425	6,929	

令和5年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	緑化推進事業						
総合計画 重点施策	—	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	水とみどりの課

事業目的・概要
<p>【事業目的】 市民の緑化意識の向上と市域の緑化推進を図る。</p> <p>【概要】 取手市緑化推進委員会と連携して、緑の募金による学校緑化、取手ガーデンロード花いっぱい事業等の緑化推進事業を展開する。また、市内の緑育活動の活性化を図るために、緑化ボランティア団体の活動を支援するとともに連携事業を実施する。</p>

成果指標	単位	R4 (実績)	R5 (実績)	R6 (目標)	R7 (目標)
緑の募金事業の実施数	回	4	4	4	4
取手ガーデンロード花いっぱい事業の実施数	回	2	2	2	2
緑化ボランティア団体との連携事業	団体	10	10	10	10

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<p>緑の募金事業 (令和5年4月～令和6年3月)</p> <p>取手ガーデンロード花いっぱい事業 (令和5年6月・令和5年11月)</p> <p>緑化ボランティア団体との連携事業 (令和5年4月～令和6年3月)</p>	<p>緑の募金事業 街頭募金・学校募金・企業募金・職場募金の4事業を実施することができた。集まった募金の交付金で学校緑化事業を実施した。</p> <p>取手ガーデンロード花いっぱい事業 令和5年6月 コスモス種まき 令和5年11月 ポピー種まき 計2回を実施し、ボランティアのかたの協力のもと、取手緑地運動公園内にあるガーデンロードにきれいな花を咲かせ、河川景観の向上を図ることができた。</p> <p>緑化ボランティア団体との連携 市内緑化推進団体 計10団体との連携事業を実施した。 (森林インストラクター茨城・環境NPOとりで・緑水会・取手自然友の会・藤代まちづくり協議会・神住フラワーカナル愛好会・岡そば打ち同好会・絆会・小貝川プロジェクト21・緑の会)</p>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

今後の方向性	
継続	市民の緑化意識向上と市内の緑化推進を図り、緑豊かな生活環境を形成するため、緑化の施策を継続して積極的に行っていく。

事業費(単位:千円)	R4(実績)	R5(実績)	R6(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金			緑化推進委員会への委託料は増減が生じていない。	
	県支出金				
	地方債				
	その他	1,000	1,000		1,000
	一般財源				
事業費計(A)	1,000	1,000	1,000	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	2	2	緑化ボランティア団体との連携により、緑化に対する知識の普及及び意識の高揚に努め、市民の自主的な緑化活動の育成を図る。	
	業務時間	1,860	1,860		1,860
	その他職員人件費				
人件費計(B)	5,891	5,937	5,978		
トータルコスト(A+B)	6,891	6,937	6,978		

令和5年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	小堀の渡し運航事業						
総合計画 重点施策	—	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	水とみどりの課

事業目的・概要
<p>【事業目的】 利根川を挟んだ両岸を一体的自然空間として活用し、観光船としての利用促進を図る。</p> <p>【概要】 観光船としての「小堀の渡し」を市内外へ情報発信するため、取手緑地運動公園で行われる各種イベントと連携した取り組みや、小堀の渡しの歴史的な由来や古利根沼の河岸跡周辺を案内する「小堀の渡しミニツアー」を実施し、多くの方に観光船として取手の魅力を周知する。</p>

成果指標	単位	R4 (実績)	R5 (実績)	R6 (目標)	R7 (目標)
連携事業数	事業数	2	2	2	2
小堀の渡しミニツアー	実施数	0	12	15	15

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<p>取手緑地運動公園で行われる各種イベントの来場者へPRするため、無料体験乗船を令和6年3月までに2回実施する。</p> <p>小堀の渡しの歴史的な由来や古利根沼の河岸跡周辺を案内する「小堀の渡しミニツアー」を毎週、月・火・木・金に実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年4月29日第44回取手市こども天国、令和5年10月1日第24回とりで利根川河川まつりにおいて、無料体験乗船を実施し運航事業をPRすることができた。 ・令和2年から令和5年5月7日まで新型コロナ対応のため休止となっていたが、令和5年5月8日から再開し、年間12件の申請で40人が利用され運航事業をPRすることができた。 	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

今後の方向性	
継続	小堀の渡しの情報発信をするため、取手緑地運動公園で行われる各種イベントでの連携事業及び小堀の渡しの歴史的な由来や古利根沼の河岸跡周辺を案内する「小堀の渡しミニツアー」を継続して実施する。

事業費(単位:千円)	R4(実績)	R5(実績)	R6(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金			令和5年度は原油価格等の高騰により、運航に係る燃料費等が上昇したため増額となった。	
	県支出金				
	地方債				
	その他	554	414		553
	一般財源	14,630	14,806		14,530
事業費計(A)	15,184	15,220	15,083	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	2	2	2	
	業務時間	2,316	2,200	2,016	
	その他職員人件費				
人件費計(B)	7,335	7,022	6,479		
トータルコスト(A+B)	22,519	22,242	21,562		